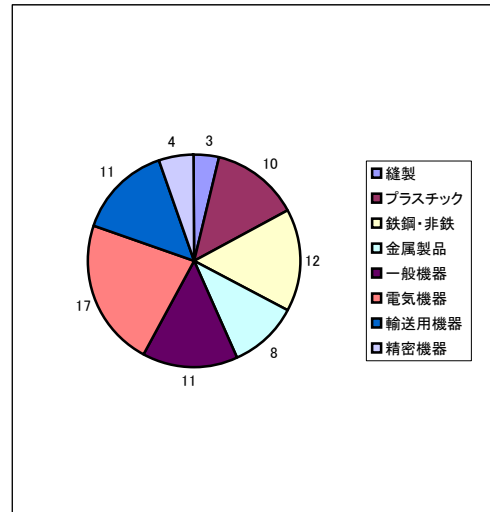


発注動向

-2010.5-

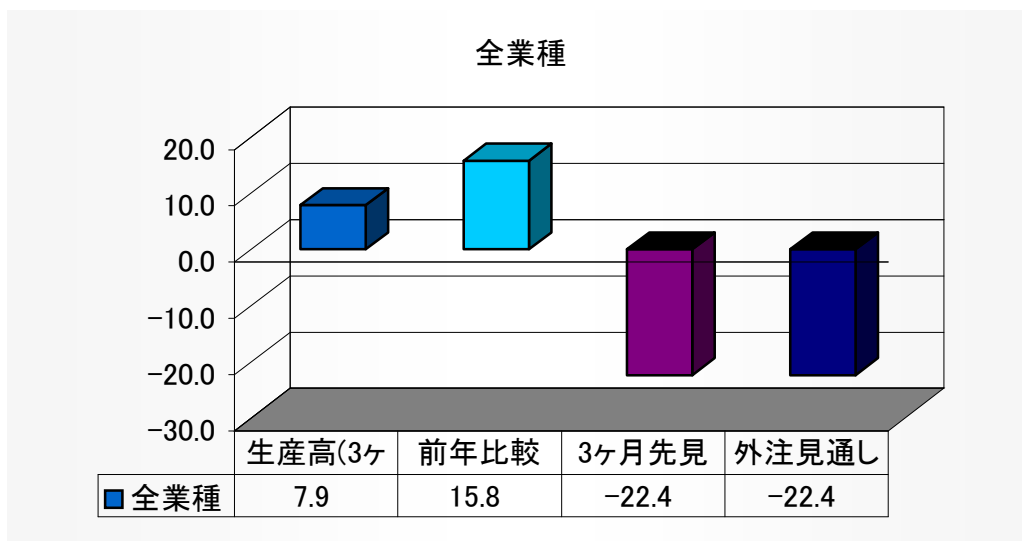
- 調査時点 平成22年4月調査(22年3月末時点)
- 対象企業 150社
- 回答企業 76社(回答率:50.7%)
(縫製3社、プラスチック10社、鉄鋼・非鉄12社、
金属製品8社、一般機器11社、電気機器17社、
輸送用機器11社、精密機器4社)
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

縫製	3	4.7%
プラスチック	10	15.6%
鉄鋼・非鉄	12	18.8%
金属製品	8	12.5%
一般機器	11	17.2%
電気機器	17	26.6%
輸送用機器	11	17.2%
精密機器	4	6.3%



全業種

前回調査結果(12月末時点)に比べ、生産高の3ヶ月前比は+7.9(前回▲6.6)でプラス14.5ポイントと改善が見られる。また、生産高の前年対比は+15.8(前回▲17.1)でプラス32.9ポイントと前回調査に引き続き大幅な改善が見られる。さらに、生産高の3ヶ月先見通しが▲22.4(前回▲30.3)でプラス7.9ポイントと改善が見られる。併せて、外注利用の見通しも、▲22.4(前回▲40.8)でプラス18.4ポイントと改善が見られる。



■ 生産高

生産高の3ヶ月前比は、前回調査結果(12月末時点)に比べ、「縫製」が0.0(前回▲50.0)でプラス50.0ポイント及び「一般機械」が+45.5(前回0.0)でプラス45.5ポイントとなったほか「金属製品」と「精密機器」で大幅な改善が見られる。また、「電気機器」が▲11.8(前回▲29.4)でプラス17.6ポイント及び「輸送用機器」が+45.5(前回+30.0)でプラス15.5ポイントと改善が見られる。さらに、「鉄鋼・非鉄」が+8.3(前回+12.5)でマイナス4.2ポイントとほぼ横ばいである。一方、「プラスチック」が▲40.0(前回+11.1)でマイナス51.1ポイントと大幅な悪化が見られる。

生産高の前年対比は、前回調査結果(12月末時点)に比べ、「一般機器」が+9.1(前回▲73.3)でプラス82.4ポイント及び「金属製品」が▲12.5(前回▲60.0)でプラス47.5ポイントとなったほか「精密機器」で大幅な改善が見られる。また、「電気機器」が+5.9(前回▲11.8)でプラス17.7ポイント及び「縫製」が▲33.3(前回▲50.0)でプラス16.7ポイントとなったほか「輸送用機器」と「鉄鋼・非鉄」で改善が見られる。さらに、「プラスチック」が+20.0(前回+22.2)でマイナス2.2ポイントと横ばいであった。

■ 業況3ヶ月先見通し

業況3ヶ月先見通しは、前回調査結果(12月末時点)に比べ、「電気機器」が+23.5(前回▲47.1)でプラス70.6ポイント、「金属製品」が▲25.5(前回▲60.0)でプラス35.0ポイント及び「プラスチック」が0.0(前回▲33.31)でプラス33.3ポイントと大幅な改善が見られる。また「縫製」が▲33.3(前回▲50.0)でプラス16.7ポイント、「一般機器」が▲18.2(前回▲33.3)でプラス15.1ポイント及び「精密機器」が+25.5(前回+20.0)でプラス5.0ポイントと改善が見られる。一方、「輸送用機器」が▲36.4(前回+10.0)でマイナス46.4ポイントと大幅な悪化が見られる。また「鉄鋼・非鉄」が▲41.7(前回▲25.0)でマイナス16.7ポイントと悪化が見られる。

■ 外注見通し

外注見通しは、前回調査結果(12月末時点)に比べ、「精密機器」が+25.0(前回▲20.0)でプラス45.0ポイントの大幅な改善が見られる。また、「電気機器」が▲29.4(前回▲58.8)でプラス29.4ポイント及び「金属製品」が▲37.5(前回▲60.0)でプラス22.5ポイントとなったほか「一般機器」及び「縫製」などで改善が見られる。一方、「プラスチック」が▲40.0(前回▲33.3)でマイナス6.7ポイントと悪化が見られる。

